

株式会社梓設計 CSR活動レポート

# AZUSA SEKKEI CSR REPORT 2019



**AZS**  
AZUSA SEKKEI CO., LTD.

株式会社 梓設計

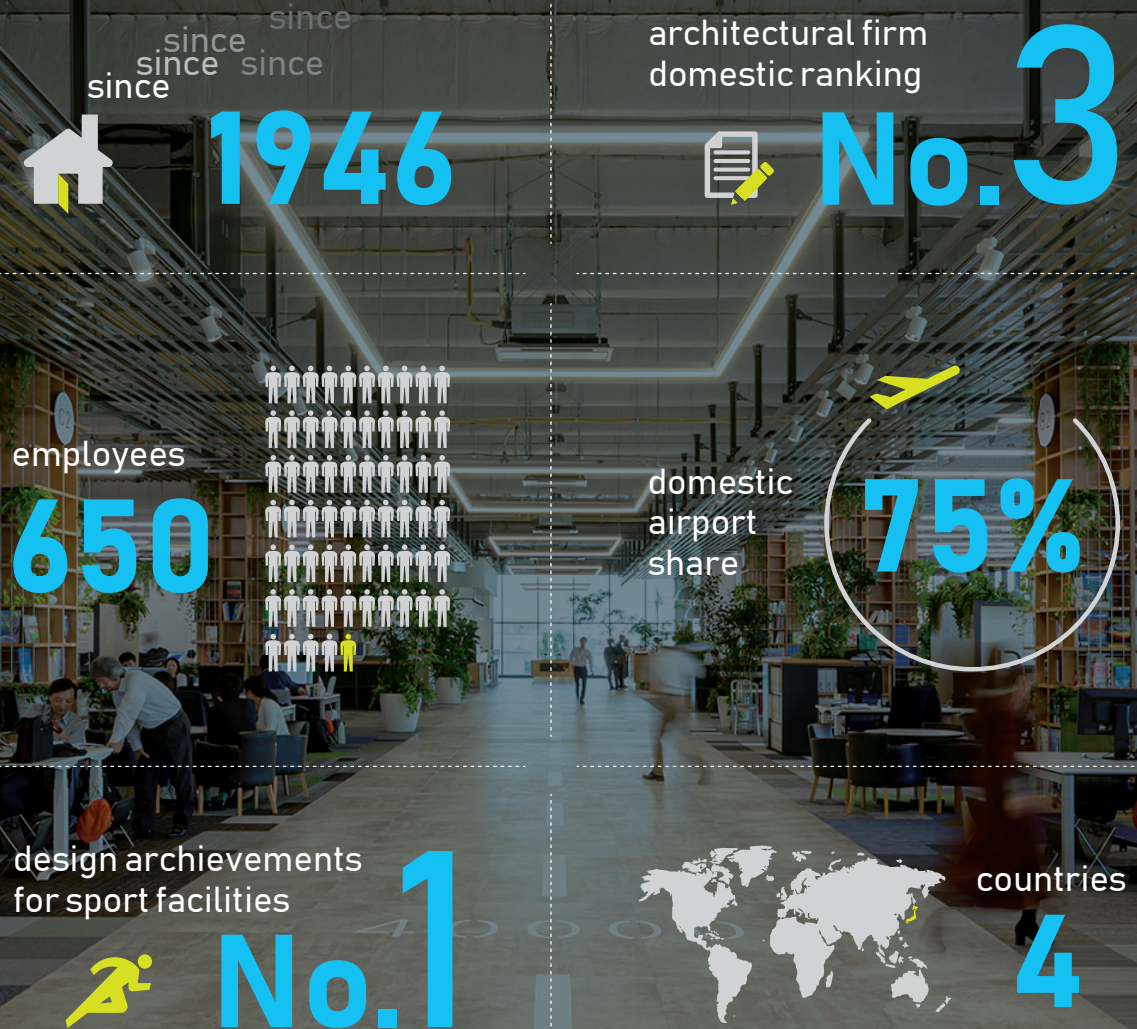
## MESSAGE

2019 年度、梓設計 CSR（企業の社会的責任）活動が本格的にスタートしました。「今よりちょっといい未来を、ともに。」の活動方針のもと、6つのオリジナルコンセプトをベースとした活動を推進しております。

事業成長に合わせ、社会における梓設計の注目度が増す中、設計活動を通じた地域貢献や次世代育成の場を創っていくことが必要不可欠となっております。そこで得た地域の人々や子どもたちとの「絆」、そしてお客様との「信頼関係」が、未来の梓設計をかたちづくるものだと感じております。

本社移転前の 2019 年 7 月には CSR 推進室を発足。潜在的な活動も社内で吸い上げながら、支援する体制が整いました。同年 8 月に本社移転した羽田スカイキャンパスの特徴を活かした CSR 活動も今後展開し、お客様に更なる価値をお届けできる企業へ成長してまいります。

## AZS FACT



# AZUSA SEKKEI, As One.

あと50年後、100年後の未来は、  
どんな世界になっているでしょうか？

人口減少、少子高齢化、環境問題・・・。

日本、世界が直面する問題を真摯に捉え、持続可能な世界をつくっていく必要があります。

私たちは設計活動を通じて、この先訪れる未来のために、いまできる事をはじめます。

今よりちょっといい未来を、ともに。

## 1 地域共生活動

より良い地域・社会環境の創造のため、当社の強みや技術者の知識を活かし、地域共生を目標とする活動に取り組めます。



## 2 環境調和活動

自然環境と調和する建築づくりはもちろん、環境保全と省エネルギーに資する様々な活動に取り組めます。



## 3 教育・次世代育成活動

次世代への積極的な教育活動を中心に、女性活躍、働き方改革等、業界の枠を越えた人財育成に取り組めます。



## 4 文化・芸術創造活動

若手芸術家支援（制作・展示会・普及・講演）などを中心に、豊かな社会を醸成する文化・芸術活動に取り組めます。



## 5 いきものとの共生活動

いきものと人が共に暮らしている社会をみんなで考え、様々な活動に取り組めます。



## 6 災害復興支援活動

災害時の応急・復旧支援、建物診断はもちろん、防災・減災に配慮したまちづくりへの取り組みと普及活動を推進します。



# 1

## 地域共生活動



### 品川学園、企業見学会の受け入れ。

未来教育推進機構が主催する「2018年度しながわ職場歩き」に参加、9月10日、品川区立品川学園の生徒さん7名を当社天王洲オフィスへご招待しました。社内の見学、業界や職種の紹介はもちろん、最後にディスカッションも行いました。専門的で難しい内容も含まれたものでしたが、みなさん真剣な眼差しで聞き入り、するどい質問もいただきました！



中学生のみなさんから様々な意見をいただきました

### スポーツを通じた地域貢献を！ BCリーグ新球団「神奈川フューチャードリームス」のプラチナスポンサーへ。

BCリーグにおいて12球団目となる新球団「神奈川フューチャードリームス」のプラチナスポンサーとなりました。球団のサポートはもちろん、野球だけでなく地域社会との積極的な交流を計画している球団活動をバックアップ。神奈川県内全域への地域貢献に寄与してまいります。梓設計ではプラチナスポンサー特典を活用した、地元小学校などへの還元プランも計画中で、子どもたちの未来の夢づくりをサポートしてまいります。

球団ホームページ：<http://futuredreams.jp/>



BCリーグの12球団目となる神奈川フューチャードリームス

## 大田区へマスク 5,000 枚を寄贈いたしました。

2020年3月24日に大田区を訪問し、当社が取引先より提供を受けたマスク 5,000 枚を寄贈。「早速福祉施設で使います」とのことでした。猛威を振るう新型コロナウイルスの早急な鎮静化を心より願っております。



松原忠義大田区長より感謝状を拝受いたしました

# 2

## 環境調和活動



&

# 5

## いきものとの共生活動



### 経団連自然保護基金への寄付。

アジア太平洋地域を主とする開発途上地域における自然環境の保全に関する非営利の民間組織が行うプロジェクトに対する助成、日本のすぐれた自然環境保全のために行う保護活動、及び持続可能な活用に関するプロジェクトに対する助成等への経団連自然保護基金への寄付を毎年行っております。



公益信託 経団連自然保護基金 / 経団連自然保護協議会  
Keidanren Nature Conservation Fund / Keidanren Committee on Nature Conservation

## 3 教育・次世代育成活動



### 防災をテーマとした授業を開催。

当社が設計した川崎市立小杉小学校では、子どもたちに、新たな学校のことを知ってもらうための様々な授業が行われており、設計者として「木材活用」・「防災計画」というテーマで2回参加させていただきました。難しい内容にも、「木材は燃えるのに、たくさん使って大丈夫なの?」「コンクリートと鉄筋コンクリートとどう違うの?」と、積極的に質問していただきました。



新しい学校を知ってもらう授業の様子

### 中学生のみなさんと語る、 未来のスタジアム!

岡山県立岡山操山中学校の総合学習をサポート、本社オフィスへご招待しました。

生徒のみなさんが自ら決めたテーマは、「都会のサッカースタジアム」や「性的マイノリティ当事者のトイレの在り方」など、どれも専門的で難しい内容をご自身で分析されていました。

当日は設計者も加わりディスカッションを行い、現状の課題と今後の取り組みなど、当社設計実績や先進事例を含め、総合学習をサポートさせていただきました。

今後も様々な交流機会を創出し、活動を拡げてまいります。



岡山操山中学校の総合学習をサポート

## 4 文化・芸術創造活動



### 梓オリジナルカップでおもてなし。

新社屋にてお客様用の梓設計オリジナルカップをご用意しました!

カップのデザインは、障がいを持った子どもたちのスケッチや落書きをプロのデザイナーが味付けし、新たなデザインや商品を生み出す活動を展開する、「CROSS TEAM」とのコラボレーションによって実現したものです。

受付には原画も飾っております。子どもたちの既成概念に捉われない、色使いとタッチにもご注目ください!

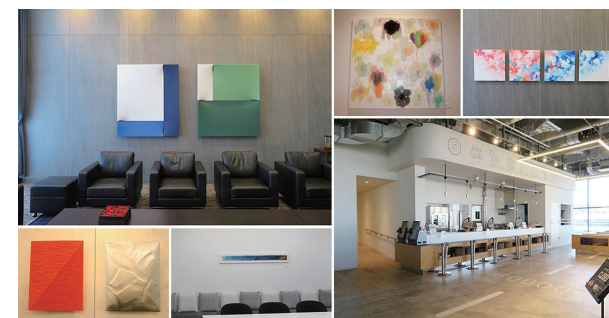


本社受付に展示中の原画とオリジナルカップ

### 社内をまるごとギャラリーに! アーティストの芸術活動を応援。

新社屋の6mの天井高と、開放的なエントランス、ラウンジ、カフェテリア、そして応接室の空間を活かし、様々なアートワーク8作品を、社内に展示しました。社員にアートや芸術に触れる機会を提供し、創造性を育むだけでなく、ご来訪いただいたお客様にもアートを楽しんでいただけます。

本社の大空間をまるごとギャラリーと捉え、芸術家活動を支援、活躍の場を今後も提供していきます。



大空間を活かしたアート作品の展示

## 6 災害復興支援活動



### 新たな日仏の懸け橋へ！ 日仏交流プロジェクトをサポート。

トゥールーズ日仏文化センターが主催する「TOHOKU PROJECT」へ協賛し、今後日本とフランスの両国で展開される学生同士の文化交流、スポーツを通じた体験学習などに参画・支援いたしました。

「TOHOKU PROJECT」は、東日本大震災での復興支援を機に深まった縁を活かした、ラグビーでの高校生同士の交流プロジェクトです。主催はフランスのトゥールーズ日仏文化センターで、今年開催されるラグビーワールドカップ 2019 大会を通じた交流や高等学校での授業参加体験、東北ならではの地域体験などを実施。当社も今後の活動に積極的に参画し、設計活動のみならず、新たな日仏交流を通じた復興支援を行ってまいりました。

主催：日仏交流サポート事務所（宮城県石巻市）／トゥールーズ日仏文化センター（フランス・トゥールーズ）



当社設計の釜石鶴住居復興スタジアム見学

## SDGs への取り組み

### 株式会社三井住友銀行による「SDGs 推進融資」を受け、 当社事業活動を通じた SDGs 目標達成への貢献内容を整理いたしました。

当社は、株式会社三井住友銀行の「SDGs 推進融資」を受け、株式会社日本総合研究所による審査評価（SDGs 目標達成へ向けたロジックの分析と取組推進へのアドバイス）を基に、以下に記す事業を通じて、SDGs の目標達成に向けた貢献が期待できると判断し、その取り組みを推進してまいります。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### 目標 7・11

環境配慮型設計を通じた建築物のエネルギー効率の改善、災害被害の軽減



#### 目標 9

BIM 化の推進や AI・IoT の活用を通じた業務の生産性向上、資源利用効率の向上

#### ※SDGs とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

website



instagram



本 社

〒144-0042 東京都大田区羽田旭町10-11 MFIP羽田3F

Tel : 03-5735-3210

株式会社梓設計 CSR活動レポート